



Tcc x SDGs REPORT 2022

目次

2 本レポートについて
これまでの主な歩み

3 新たなトップコミットメント

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4 SDGsカンファレンス



5 SDGs AICHI EXPO 2022への出展



6 SDGs パートナシップ協定
パートナーシップのトピックス



7 韓国 済州特別自治道開発公社の方々のSDGs視察
愛知県立佐屋高校科学部への環境教育の実施



8 2022年度SDGsプロジェクト



21 2023年度のSDGsの取り組み

本レポートについて

SDGsは持続可能な社会を実現するための世界共通の課題・目標であり、この達成に貢献することが当社自らの持続的な成長に繋がると考えています。

本レポートは、当社の2022年度のSDGsへの取り組みを紹介するものであり、本レポートを通じて、SDGsの達成に貢献する方々とのパートナーシップのきっかけになれば幸いです。

これまでの主な歩み

2019年度	6月	SDGsの全社展開スタート	
	7月	TCC × SDGs プロジェクト開始	
	8月	SDGs アンバサダー就任	
	9月	2019年度 SDGs カンファレンス開催	
2020年度	6月	2019年度 SDGs 報告書発行	
	7月	2020年度 SDGs カンファレンス開催	
	10月	地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム（内閣府）へ参加	
	1月	JAPAN SDGs Action Platform（外務省）へ参加	
	2月	TCC × SDGsパートナーシップ協定運用開始	
	3月	SDGs AICHI EXPO 2020 オンライン開催へ出展	
2021年度	6月	2020年度 SDGs 報告書発行	
	6月	SDGs パートナーシップ協定第1号締結	
	6月	SDGs de 地方創生公認ファシリテーター2名養成	
	8月	2021年度 SDGsカンファレンス開催	
	10月	SDGs AICHI EXPO 2021へ出展	
	1月	名古屋市立丸の内中学校ビオトープ移設プロジェクト開始	
2022年度	5月	新たなトップコミットメントを宣言	
	5月	2022年度 TCC × SDGs プロジェクト開始	
	5月	2021年度 SDGs報告書発行	
	7月	2022年度 SDGs カンファレンス開催	
	10月	SDGs AICHI EXPO 2022へ出展	
	12月	韓国 済州特別自治道開発公社の方々のSDGs視察	
	2月	愛知県立佐屋高校への環境教育の実施	

新たなトップコミットメント

私たちテクノ中部は、エネルギーと環境にかかわる豊富な経験と確かな技術で、より豊かな社会創りや自然環境の保全を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGsに賛同します

- ・当社は、中部電力グループの中で唯一事業として環境を謳う企業として、より豊かな社会創りや自然環境の保全に取り組みます。
- ・当社は、SDGsの理念に賛同し、すべての企業活動を通じてこの達成に貢献し、さらなる企業価値の向上を図ります。

エネルギーと環境

- ・当社は、電力は重要な社会インフラであることを自覚し、安全かつ安定的、経済的で環境に配慮したサービスを提供します。
- ・当社は、新しい技術・発想によりゼロエミッション社会、自然共生社会および循環型社会の実現に貢献します。

一人ひとりが活躍できる職場へ

- ・当社は、風通しの良い明るく元気な職場を作るとともに、従業員が誇りを持って働ける職場作りを進めます。
- ・当社は、従業員が安全で心身ともに健康で働ける環境、多様な人財が働きやすい環境を整備します。

すべての皆さまとともに

- ・当社は、お客さまを始め、地域の皆さまからのより一層の信頼が得られるよう、コンプライアンスの推進に取り組みます。
- ・当社は、当社だけでは困難な課題に対しても、積極的にパートナーと連携し、社会の様々な課題解決に取り組みます。

2022年 5月 1日

株式会社 テクノ中部

代表取締役社長 伊出 俊一郎

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



SDGs カンファレンス

7月12日に、本店6階講堂にてSDGsカンファレンスを行いました。「持続可能な社会」を実現するための国際目標であるSDGs、その推進活動の一つとして、2019年より毎年開催しています。今回も新型コロナウイルス感染症対策のため、会場への入場者数を制限し、Webを活用しての開催となりました。今年で4回目となるこのカンファレンスには、約120名の方が、会場及びWeb上で参加してくださいました。また、今回は来賓としてSDGsパートナーシップの企業さまも招待しての開催となりました。

2022年度は、新規6件、復活1件を含めた計23件のプロジェクトが進行しています。各プロジェクトの代表1名が、昨年度の実績の紹介と、プロジェクトの最終的な目標、そしてメッセージ及びキャッチコピーを紹介しました。新規事業の開拓や各々の業務に直結するものの他に、ダイバーシティ推進や定時の文化の定着といった、社員に直接関係するプロジェクトも発表されました。約3分という時間の制約がある中での発表となりましたが、どのプロジェクトも意気込み充分で、当社全体におけるSDGs推進活動の浸透と広がりを感じさせるものとなりました。

全てのプロジェクトの発表の後、SDGsパートナーシップの企業さまからご講評をいただきました。多くのプロジェクトが発足していて感心した、非常に興味深く勉強になった、などのお言葉を多く頂戴いたしました。当社のSDGsカンファレンスへ参加してよかった、と大変に良い評価をいただける結果となりました。



SDGs AICHI EXPO 2022への出展

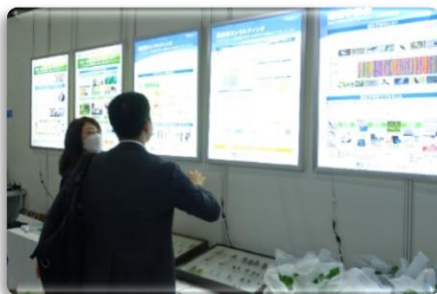
10月6日から8日の3日間、愛知県国際展示場で、カーボンニュートラル、ローカルSDGsの実現に向けて～「あいち発 未来共創パートナーシップ」をテーマに、SDGs AICHI EXPO 2022 が開催されました。

当社の展示内容は、2022年度のSDGsプロジェクトから、「カーボンニュートラル」、「遺伝子解析」、「浜岡前面海域・豊かな海プロジェクト」、「小型UAV(ドローン)調査」、「洋上風力発電支援事業」について、パネルの展示や動画放映のほか、昆虫標本、アワビおよびカジメの育苗キット、ドローンの実機展示でした。

2022年度は来訪していただいた方に、お花の苗をお配りいたしました。これはJERAミライフルのチャレンジドの方々が育てられたもので、SDGsの理念とマッチするため、ご提供していただきました。ペンタスという花の苗は、280株準備いたしましたが、配布品としては珍しいこともあり、3日目の終了までにすべて配布完了いたしました。

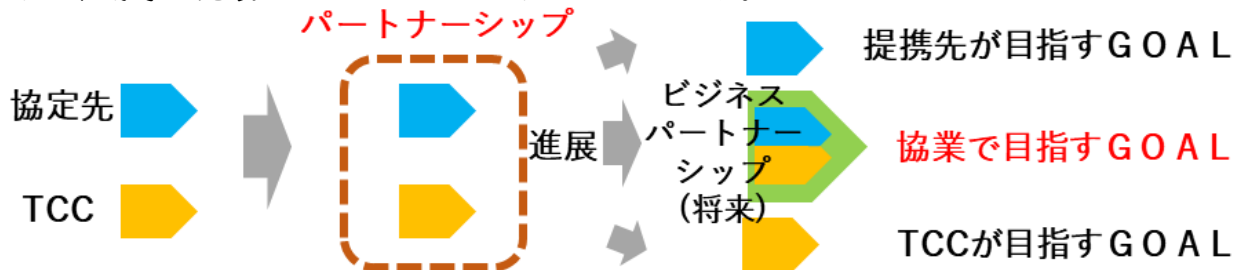
当社の展示のほか、中部電力の事業創造本部殿の換気監視サービス（エアロコ）や中部電力ミライズのカテエネ、ソトエネについても展示をいたしました。

今年度の当社のブースには昨年の約3倍もの来訪者がお見えになり、多くの民間企業、官公庁、学校関係の皆さまと情報交換を行うことができました。出展の目的である企業イメージの向上、事業拡大およびパートナーシップ企業の開拓に貢献できました。



SDGs パートナーシップ協定

SDGsにおいては、官民をはじめ、学校、NGO・NPO、企業等多様なパートナーと連携することが推奨されています。本協定の取組みは、協定先の企業・団体等およびそれらで構成するネットワークにおいて、SDGsの取組みを相互に支援、協力することで、その活動等を発展させていくことをねらっています。



2023年5月時点で、当社は以下に示します6社とパートナーシップ協定を締結しております。今後も引き続き、多様なパートナーとの協定拡大に取り組み、社会課題の解決、SDGs達成に貢献してまいります

協定締結先(敬称略/締結順)		関連ゴール
文吾林造園株式会社	(長野県飯田市)	11 持続可能な消費と生産、15 陸の生態系、17 パートナーシップ
株式会社ダイセキ環境ソリューション	(名古屋市瑞穂区)	11 持続可能な消費と生産、14 海洋資源、15 陸の生態系、17 パートナーシップ
三光株式会社	(鳥取県境港市)	4 質の高い雇用と経済成長、11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産、14 海洋資源、15 陸の生態系、17 パートナーシップ
五大エージェンシー株式会社	(名古屋市緑区)	6 持続可能な水と衛生、8 持続可能な産業と革新、11 持続可能な消費と生産、15 陸の生態系、17 パートナーシップ
株式会社千代田テクノル	(東京都文京区)	7 持続可能なエネルギー
西川コミュニケーションズ株式会社	(名古屋市東区)	3 持続可能なエネルギー、8 持続可能な産業と革新、11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動、14 海洋資源、15 陸の生態系

パートナーシップのトピックス

西川コミュニケーションズ 株式会社

当社はSGDsパートナーシップ協定企業である西川コミュニケーションズ株式会社の進める「ゼロエミッション印刷ならびに安心・安全な工場づくり」に協働して取り組み、工場や事業場等の脱炭素は勿論のこと、様々な環境影響物質のゼロエミッション化に貢献し、関連するSDGs達成を目指します。



株式会社 千代田テクノル

当社はSDGsパートナーシップ協定企業である株式会社千代田テクノルから依頼を受け、千代田テクノル本社と各事業所をネットで結んだSDGs勉強会で「SDGsとエネルギー・原子力・放射線」をテーマに講演をいたしました。



韓国 済州特別自治道開発公社の方々のSDGs視察

12月14日(水)に済州特別自治道開発公社のJEJUSAMDASU社（ジェジュサムダス）の社員ら11名の方々が、当社本店にSDGsの視察に見えました。これは、10月に開催されたSDGs AICHI EXPO 2022で、韓国標準協会の方が当社の出展内容に関心を持たれたことをきっかけに、JEJUSAMDASU社のESGに関わる日本視察団の行程に当社の視察を加えられたものです。

当日は当社のSDGs事務局関係者2名が、SDGsの取り組み状況や社会課題の課題につながる当社の環境技術について紹介するとともに、韓国でもESGやSDGsに対する関心や取り組みについて積極的な情報交換が行われました。



愛知県立佐屋高校科学部への環境教育の実施

2月17日、環境技術センターでは、愛知県立佐屋高等学校の科学部の生徒さんを対象に環境DNAに関するオンライン講義を実施しました。

本講義は当社ホームページの環境DNA分析・遺伝子解析のページをご覧になられた佐屋高校の先生から、環境DNAを用いた水中の生物調査をご依頼いただいたことがきっかけになりました。

オンライン講義では、環境DNAの基礎から、実際の活用事例まで、幅広くご説明・ご紹介いたしました。講義を受けられた生徒の方々からの熱心なご質問もあり、当該技術が環境保全に果たす役割と重要性について、深くご理解いただけました。



2022年度 SDGsプロジェクト

No.	プロジェクト名	関連ゴール
01	丸の内中学校ビオトープ運営支援プロジェクト（丸の内DASH）	  
02	「風の守人」として風力発電所の安全運転と保安の確保によるグリーンエネルギーの提供	
03	安全・品質・かいぜんキャラバン	 
04	取引先とのパートナーシップでSDGs達成の推進！	   
05	Public relations (Tcc2022)	  
06	TDP ～テクノ・ダバ～シティ推進・プロジェクト～	   
07	灰カツ	  
NEW 08	ENERGY（電力・ガス）の安定供給に貢献	
NEW 09	「定時の文化」の定着プロジェクト	 
10	屋上ビオトープ管理運営	  
11	海ぶどう	     
12	環境・海事の技術で洋上風力を実現	        
13	ドローン活用プロジェクト	   
14	プロジェクトYAGI 2022	        
15	エコマークとるぜ！	     
16	プロジェクトGENE	   
NEW 17	クロダイ食害対策プロジェクト	  
NEW 18	アスベスト調査ならお任せ下さい！	    
NEW 19	PCB機器の適正処分	   
20	碧南事業所 品質不適合無（なし）の継続により、お客さま信頼度のさらなる向上を図ろう	 
21	浜岡前面海域・豊かな海 藻場と磯根資源の回復を目指して	 
22	浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、グリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう！	      
NEW 23	カーボンニュートラルプロジェクト	    
NEW 24	唯一無二の原子力防災体制を構築	  

Project No.01

丸の内中学校ビオトープ運営支援プロジェクト (丸の内DASH)



【活動実績】

①SDGs AICHI EXPO2022にパネル展示した。



②官民連携プラットフォームの取り組み事例に応募した。

丸の内中学のビオトープ移転をパ ートナーシップで成功させよう!

愛知県名古屋市 × 株式会社テクノ中部
(登録団体：株式会社テクノ中部)

取組概要

名古屋市立丸の内中学校のビオトープが体育館改良工事のため廃止の危機を迎えた。SDGs AICHI EXPOの会場で同校の教職員からの相談を受けた当社（テクノ中部）は、SDGs パートナーシップ協定締結企業2社（文芸林造園×五大エージェンシー）と連携し、同校の教職員・生徒と協働することで、ビオトープの移設を実現した。



ビオトープ池の移設

一本松の植樹

Project No.02

「風の守人」として風力発電所の安全運転と 保安の確保によるクリーンエネルギーの提供



【活動実績】



風車設備



定期安全管理審査

Project No.03

安全・品質・かいぜんキャラバン



【活動実績】

実施部署

事業所：武豊、北勢（川越）、上越、CEPO半田、浜岡

本店各部署：企画部、営業部、経理部、総務部、火力部、燃料海事部、原子力部、環境統括部、環境技術センター、測定分析センター

○安全・品質基本方針の浸透、定着を図るため、4つの行動指針に関する行動のポイント、前年度のアンケート結果、かいぜん活動の在り方について説明を行うとともに意見交換を行った。

○事業所における安全・品質・かいぜんの活動状況や、最近の情勢について説明を受け、意見交換を行った。

○かいぜんに取り組み中の現場や、課題等を抱えている現場の確認を行った。



7月6日（水）武豊事業所での実施状況

Project No.04

取引先とのパートナーシップでSDGs達成に貢献！



【活動実績】

～【大手通信事業会社様や大手製造会社様はじめ多数のPCB分析、廃棄物処分支援を実施しました。】～



【PCB 分析・試料採取 実績例】

【PCB 廃棄物の処分支援業務 搬出実績例】

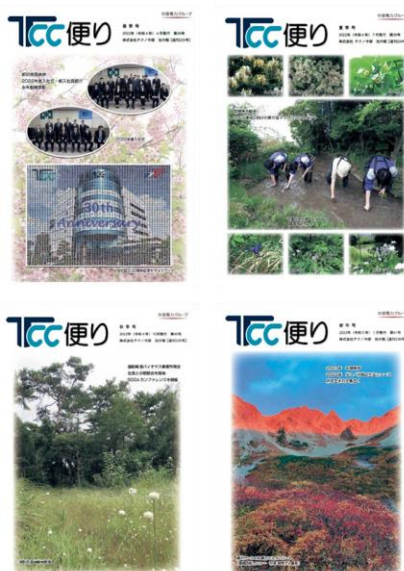
Project No.05

Public relations (Tcc2022)



【活動実績】

社内報発行



ホームページ 運用保守



中電グループ ファミリーフェア出展



Project No.06

TDP ～テクノ・ダイバーシティ推進・プロジェクト～



【活動実績】

活動実績

～ダイバーシティを推進し、企業の発展や活性化を目指す～

【障がい者法定雇用率の確保】

障がい者採用内定者 2 名

【女性の育児休暇取得率 100%】

2022年度女性の育児休職対象者 3 名取得

【男性イクメン休暇取得率 100%】

2022年度イクメン休暇対象者 7 名取得

Project No.07

灰カツ



【活動実績】



CO₂排出量（参考データ）

材料	CO ₂ 排出量(kg/t)
セメント	757.9
高炉スラグ	24.1
フライアッシュ	17.9

セメント置換でCO₂(740kg/t) 削減



2022年度実績
CO₂排出量 410万kg削減
(前年比116%)

Project No.08

ENERGY（電力・ガス）の安定供給に貢献



【活動実績】

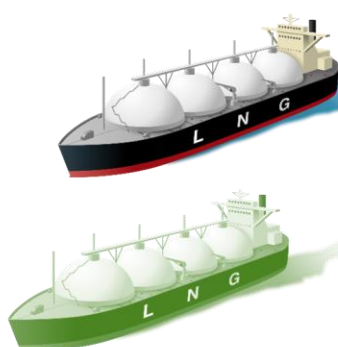
- 2022年度受入実績 A社 33隻
B社 17隻
- 2022年度 同日離着棧および分散受入の実績なし



当社所有4,000馬力級
タグボート「かすが丸」



当社所有4,000馬力級
タグボート「やちほ丸」



	基地	1日目	2日目	3日目	4日目
①同日離着棧	A社				過去2回実績あり
	B社				
②分散受入 港内シフトによる バースル受入の場合	A社				実績なし (対応可能)
	B社				
③同日受入	A社				実績なし (現状対応不可)
	B社				

Project No.09

「定時の文化」の定着プロジェクト



【活動実績】

◇時間外労働削減実績（3月末現在）

目標：前年度比 50%削減相当

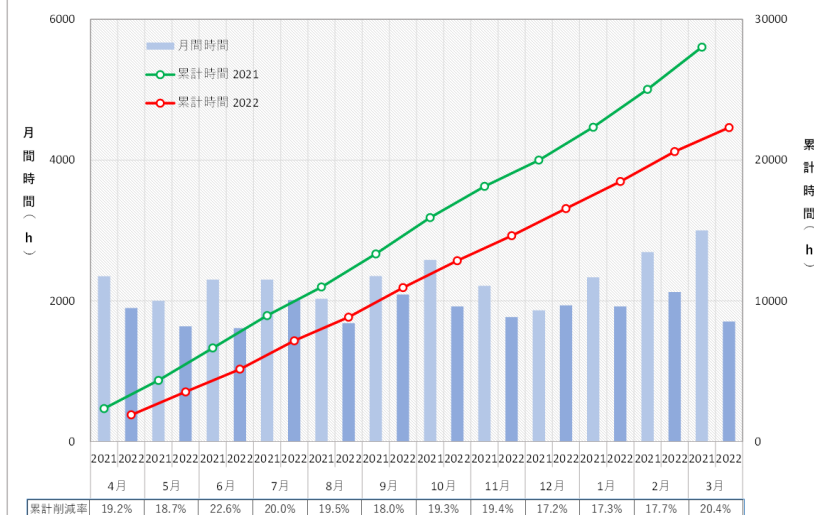
実績：前年度比 20.4%削減

◇年度末最終月（3月）の時間外労働時間

目標：概ねゼロ水準

実績：1,706時間

環境事業本部時間外労働実績



Project No.10

屋上ビオトープ管理運営

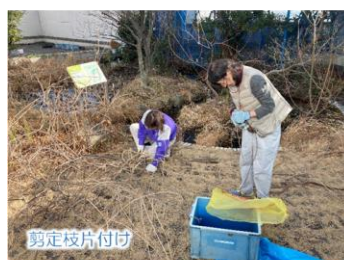


【活動実績】

「みんなの屋上ビオトープ」を目指した取組みを実施

屋上ビオトープ管理作業

あいち生物多様性企業認証制度「優良認証」に認定



魚類モニタリング



Project No.11

海ぶどう



【活動実績】

当社試作品



他社製品例

Project No.12

環境・海事の技術で洋上風力を実現



【活動実績】

【営業】新規のお客様に当社技術のプレゼンテーションを実施し、新たな事業者とのコネクションを構築

【実務】2050年カーボンニュートラルの達成に向け、アセス図書の作成や環境に配慮した風車配置を提案



新規洋上風力事業のアセス図書の作成



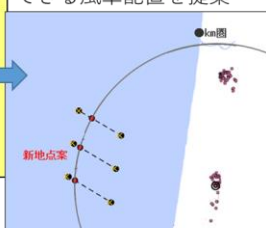
環境影響を予測し、環境に配慮した風車レイアウト・送電ケーブルの陸揚げポイントを検討

【騒音の影響】



指針値を超える住宅を確認

離隔距離を保つことのできる風車配置を提案



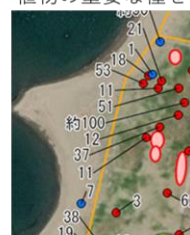
【フォトモンタージュ作成】

住民の理解促進のための説明会等で活用できる



【植物調査】

植物の重要な種を確認



ドローン撮影による重要な植物群落の確認



Project No.13

ドローン活用プロジェクト

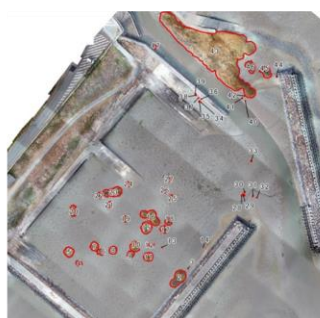


【活動実績】

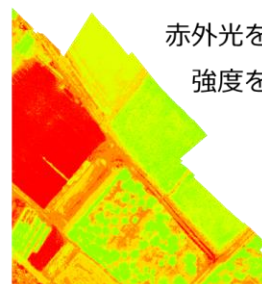
2022年度活動内容

- ◆植生調査用オルソ画像の作成（環境アセスメント対応、ビオトープ調査）
- ◆貯炭場空撮（冠水状況、貯炭山流炭状況確認）【飛行訓練】
- ◆ドローン利活用委員会での当社活用業務実績のPR実施
- ◆他社への農林業への活用のPR実施

PR内容（抜粋）



・マルチ（ハイパー）スペクトルカメラ



赤外光を含む波長帯別の
強度を計測

Project No.14

プロジェクトYAGI 2022



【活動実績】

ヤギ除草を活用した環境・SDGs学習in東浦自然環境学習の森

ヤギ除草の実施（9月14日～10月31日）



はたらくヤギさん

現地ボランティアの方
による柵外さんぽ

環境学習イベントの実施（10月10日）



NPO法人水とみどりを愛する会との共同開催
親子合わせ20名が参加

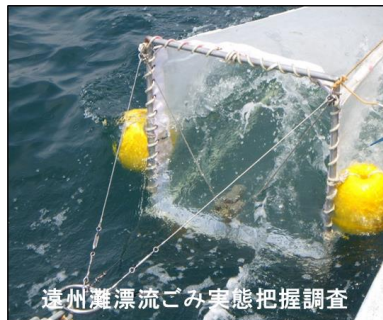


Project No.15 エコマークとるぜ！



【活動実績】

～プラスチックスマートに登録することでテクノ中部の活動内容を広めて参ります～



遠州灘漂流ごみ実態把握調査



マイクロプラスチック調査

掲載！



Project No.16 プロジェクトGENE



【活動実績】

～科学の力で豊かな社会を～

環境DNA分析

河川の魚道を遡上するアユのモニタリング調査



遺伝子配列解析

樹木の外来害虫 クビアカツヤカミキリ の被害調査



水産物の品質証明

アサクサノリの純度分析



教育分野への展開

環境DNAをテーマとしたWEB講義の実施



Project No.17

クロダイ食害対策プロジェクト



【活動実績】

～クロダイの食害への対策を練る～

バイオテレメトリー技術による行動モニタリング調査



超音波発信機を装着



三枚網による駆除試験



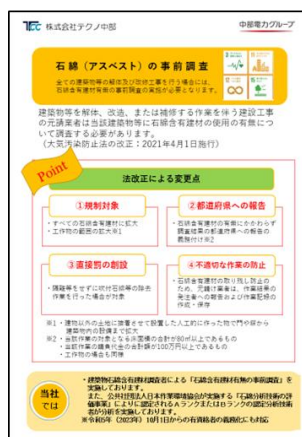
食害防除網の改良試験

Project No.18

アスベスト調査ならお任せ下さい！



【活動実績】



PR リーフレット(営業資料)

現地事前調査 建材調査OJT

Project No.19

PCB機器の適正処分



【活動実績】



大規模受注サンプルの到着



効率的作業のための作戦会議



高濃度PCB廃棄物処分支援
(搬出時)

Project No.20

碧南事業所 品質不適合無（なし）の継続により、
お客さま信頼度のさらなる向上を図ろう



【活動実績】



Project No.21

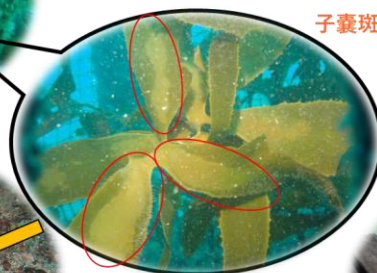
浜岡前面海域・豊かな海
藻場と磯根資源の回復を目指して



【活動実績】

食害防止網を用いたカジメ保護の継続

防止網内で保護されているカジメ



子嚢斑



幼体を確認!

アワビ放流効果の定量化



稚貝



成貝

新技術を用いた広域藻場回復状況の把握



水中ドローン



船上での様子

水中ドローンの有効性テストを実施

Project No.22

浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、
クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう！



【活動実績】

～業務の確実な遂行による放射性廃棄物の削減に貢献～

クリアランス処理業務の確実な遂行

TPS
かいぜん

400箱
測定

確認待ちエリア

クリアランス
制度適用を助勢
(550箱)

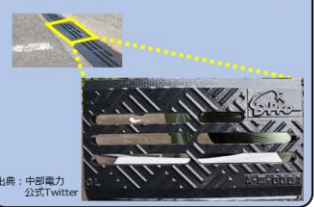
※クリアランス制度適用により放射性
廃棄物として扱う必要がなくなる

クリアランス測定エリア

铸造所
(御前崎市)

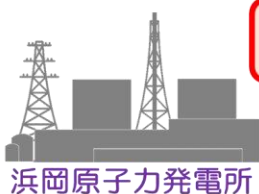
搬出待ちエリア

〔再利用の促進を助勢〕
浜岡原子力発電所の構内等に
グレーチング（側溝の蓋）を設置



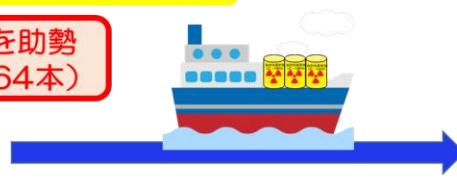
出典：中部電力
公式Twitter

廃棄体の製作・検査・管理業務の確実な遂行



浜岡原子力発電所

廃棄体の搬出を助勢
(ドラム缶1,264本)



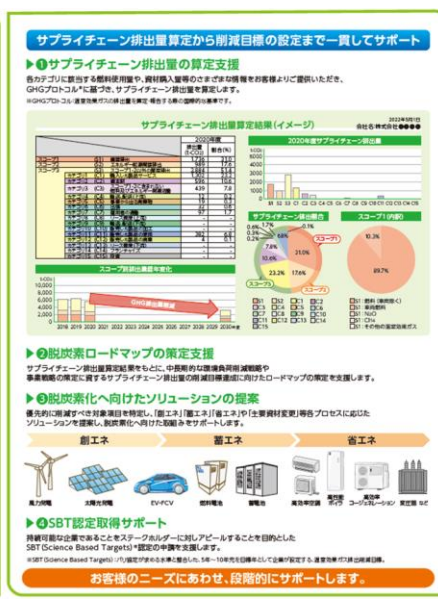
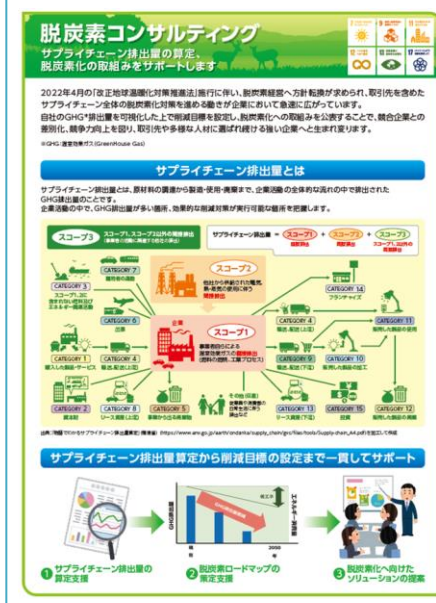
六ヶ所埋設センター
(青森県)

カーボンニュートラルプロジェクト



【活動実績】

リーフレット



展示会におけるPR



Project No.24



【活動実績】

県防災資機材点検対応



千代田テクノが入札した「静岡県が整備した原子力防災資機材の管理」をテクノ中部と協力し遂行した。それぞれの配備場所で自治体と関係性を構築することにより困りごとや実状を把握することができた。

〈配備場所〉 静岡県内市役所・消防署など 25ヶ所

〈実施期間〉 2022.7 ~ 2023.1

〈資機材数〉 各場所 76種類

県原子力防災訓練参画

南海トラフ巨大地震で中部電力の浜岡原子力発電所から放射性物質が漏れ出したという想定で10の自治体から住民約370人が参加して県の防災訓練が行われた。千代田テクノは車両検査装置の設営補助、テクノ中部は中部電力参加者の支援を担当した。

訓練における住民の動きを把握することができ、今後待ち時間を利用したPR活動の提案について検討する。



SDGsに関する講演開催

〈テーマ〉「SDGsとエネルギー・原子力・放射線」
 〈日 時〉2022年12月14日(水) 15:30~17:00
 〈参加者〉千代田テクノ社社員 30名



パートナーシップにより期待される効果

- ▶パートナーとの**協業機会創出**によるビジネスチャンスへの発展
- ▶イベント等の共催による更なる**新たなパートナーとの出会い**
- ▶ホームページとの**相互リンク**等によるブランド力向上
- ▶**相互交流**による**コミュニケーション**の活性化。等

テクノ中部SDGs活動は、中電グループの中でいち早くその取り組みを開始し、2023年度には5年目を迎えます。

私たちは、改めてSDGsの本質に迫り持続可能な企業を目指していきます。

SDGs活動は、多くの従業員が一体感を持って楽しんで推進し、パートナーシップの皆様とともに社会課題解決へ貢献してまいります。





弊社ホームページ



Japan.
Committed
to the SDGs

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています